

「中皮腫・アスベスト疾患・患者と家族の会」から生まれた本

病いによってどう生活が変わり、どんな困難に直面するのか？

ちゅう ひ しゅ

中皮腫とともに生きる

希少・難治性がん患者と家族の26の「ものがたり」

四六判並製 232頁

定価：本体2000円＋税〔税込2200円〕

7月上旬刊

北星学園大学教授

大島寿美子編

ISBN978-4-909281-42-5 C0047

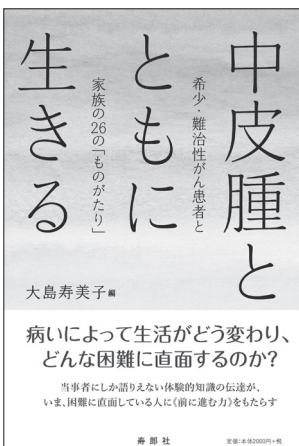
2人に1人ががんになり、3人に1人ががんで亡くなる時代。

本書は5年生存率が一割程度という

希少・難治性のがんになった人々の体験的知識を伝達する本です。

26人の患者・家族の「ものがたり」が、

いま、困難に直面している人に《前に進む力》をもたらしめます。



発行 寿郎社

〒060-0807

札幌市北区北7条西2丁目37山京ビル

TEL 011-708-8565

FAX 011-708-8566

E-mail doi@jurousha.com

〔目次より〕

はじめに——希少・難治性がん患者と家族の26の「ものがたり」

I 中皮腫と診断されて

- 1 保育士の仕事と治療の両立……鹿川真弓(沖縄県)
- 2 子どもたちの前では絶対に泣かない……Y・O(静岡県)
- 3 サポートされる側とする側の両方を経験して……原修子(埼玉県)
- 4 中皮腫の仲間たちとともに……右田孝雄(大阪府)
- 5 家族の励ましと社員の頑張りに支えられて……平田勝久(岐阜県)
- 6 がんはハンデじゃない……田中奏美(北海道)
- 7 中皮腫になって得られた出会いと経験……館山亮(北海道)
- 8 医師として働き、患者として助けられて……中島喜章(新潟県)
- 9 功を奏したセカンドオペニオン……山中伸治(東京都)
- 10 この素晴らしい日々が長く続くように……尾上一郎(兵庫県)
- 11 自分が納得できる人生を送れたら……黒木公明(山口県)
- 12 「今はあかん」と誓って生き延びた……田村勝也(大阪府)

II 家族としての思い

- 13 無理せず、のりくくりといきましょう……黒田しげみ(埼玉県)
- 14 患者としてのがん体験から娘としてのがん体験へ……浅原和香子(大阪府)
- 15 四人の子を残して何も言わずに逝った夫……小菅千恵子(埼玉県)
- 16 祈るような思いで寄り添い続けた二年間……後藤里美(愛知県)
- 17 悔いの残らない看病ができた……栗田悦子(群馬県)
- 18 母の死を語ったときによく涙がこぼれた……松島恵一(埼玉県)
- 19 本当の娘のように看病して……松島和枝(埼玉県)
- 20 夫の死から三五年後の公務災害申請……後藤雅子(大阪府)
- 21 ヤンチャな笑顔を守りたくて……福田靖美(兵庫県)
- 22 一人にしないで、一緒に連れて行って……有賀忍(東京都)
- 23 互いへの思いを伝え合って最期を迎えられた……影山小百合(静岡県)
- 24 変化していった夫婦の関係……尾上貴美子(大阪府)
- 25 父の最期を看取って……山田哲也(大阪府)
- 26 無我夢中でサポートして寄り添った日々……内田優子(大阪府)

III 中皮腫の仲間をサポートし続ける……右田孝雄×大島寿美子

おわりに——気持ちの分かち合いと体験的知識の伝達

〔編者略歴〕

大島寿美子(おおしま・すみこ) 1964年東京生まれ。千葉大学大学院理学研究科修士。北海道大学医学研究科修士(医学博士)。共同通信、ジャパンタイムズ記者を経て、現在、北星学園大学文学部心理・応用コミュニケーション学科教授。NPO法人がんサポーター北海道理事長。著書に『がんの「語り」——語り手の養成から学校・医療・企業への派遣まで』(共著、寿郎社)、『絆』を築くケア技法 ユマニチュード——人のケアから関係性のケアへ(誠文堂新光社)、『アスベスト禍はなぜ広がったのか——日本の石綿産業の歴史と国の関与』(共著、日本評論社)、編書に『北海道でがんとともに生きる』(寿郎社)などがあ